

資料 5-2-4

看護学科における FD の考え方と FD 部会の役割：平成 19 年度～

1. 看護学科における FD の考え方

FD (Faculty Development) とは、教員の教育力を高めるための組織的取り組みを言う。教育力とは、教育と研究にかかわる能力をさす。FD の前提は、教員個人が教育力の向上に向けて自己研鑽に努めることにある。これは、大学教員としての責務でもある。本学科の FD プログラムは、個人の自己研鑽を支援するものとして位置づけられる

2. FD の目的

看護学教育の質の改善と向上を図るため、教員組織および教員個々の教育力を高める。

3. FD プログラムの種別

名 称		責任者	内 容	
学科プログラム		学科長 副学科長	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任の助手・助教・講師・准教授・教授に対して、採用時オリエンテーション（大学、学科に関して）を行う。 ・ 新任の助手・助教に対する FD 支援を領域長および看護過程、看護過程実習などの科目責任者に働きかける。 ・ 学科プログラムの評価を行い、学科教授会に報告する。
			選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任の助手・助教は、看護過程および看護過程実習に担当教員として加わり、実習指導能力を養う。科目責任者は、個別の FD プログラムを立案・実施・評価し、学科長に報告する。 ・ 新任の助手・助教は、看護基礎教育論（大学院カリキュラム）において科目責任者と共に授業の実際にかかわり、看護学教育への理解を深める。科目責任者は、個別の FD プログラムを立案・実施・評価し、学科長に報告する。
領域プログラム		領域長 * 講座主任は領域長を支援	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任の助手・助教・講師・准教授・教授に対して、採用時オリエンテーション（領域に関して）を行う。 ・ 新任の助手・助教に対して、FD プログラムを立案・実施・評価を行う。 ・ 領域プログラムの評価を行い、学科教授会に報告する。
部会プログラム	FD 部会プログラム	部会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部および大学院の FD に関する最新情報等の研修会の企画・運営 ・ 他の 3 つの部会が企画する FD プログラムとの調整・共催 ・ FD プログラムの評価 学科会議に報告
	カリキュラム部会プログラム			・ カリキュラムに関する研修会の企画・運営
	看護学実習部会プログラム			・ 臨地実習に関する研修会の企画・運営
	研究交流推進部会プログラム			・ 研究に関する研修会の企画・運営
	情報システム部会プログラム			・ Web 教材の作成・開発に関する研修会の企画・運営

4. 看護学科 FD 部会の役割

1) 目的 : 教員個々の教育力（教育と研究に関わる能力）向上を支援するため、学科長、領域長、各部会、看護学専攻（大学院）と連携しながら学部および大学院の FD プログラムを推進する。

2) 位置づけ：管理・運営

3) 構成員 : 教授 1 名、准教授 1 名

4) 活動内容 : ・ 学部および大学院の FD に関する最新情報等の研修会の企画、運営
 ・ 他の部会が企画する FD プログラムとの調整・共催
 ・ FD 部会プログラムの評価と学科会議報告
 ・ 全学、医学部・医学系研究科主催の FD との連携のあり方について検討

（出典：医学部看護学科作成）